

5 受療状況

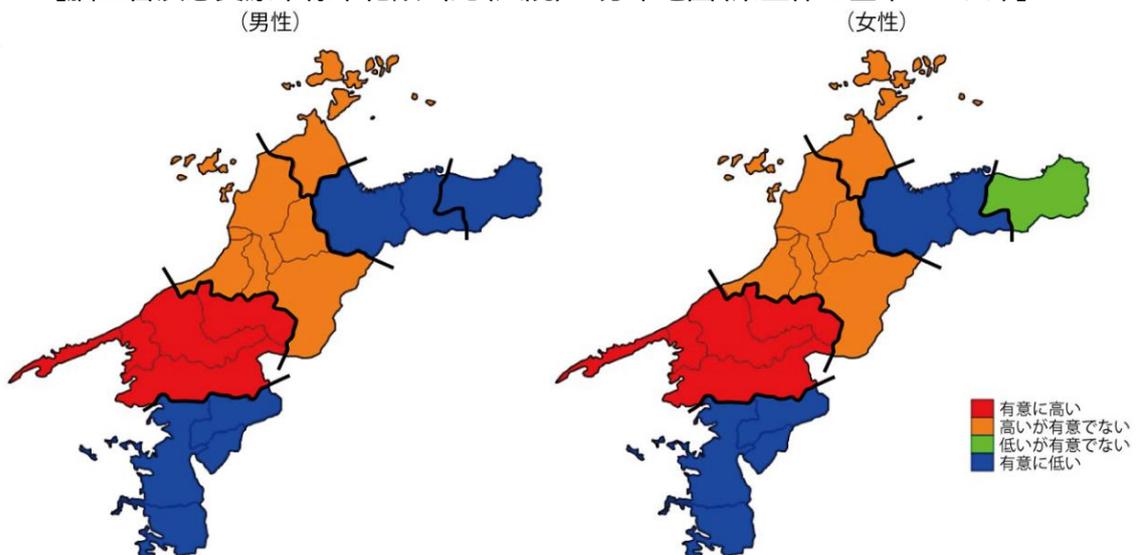
令和4（2022）年度の愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業データ分析報告書によると循環器病の入院・入院外別の受療率分布（二次医療圏別標準化該当比）は次のとおりです。

【脳血管疾患】

《入院》

男女ともに八幡浜・大洲圏域が有意に高く、新居浜・西条及び宇和島圏域が有意に低くなっています。また、男性では、宇摩圏域も有意に低くなっています。

図Ⅱ-14[脳血管疾患受療率標準化該当比(入院)の分布地図(県全体を基準=100)]

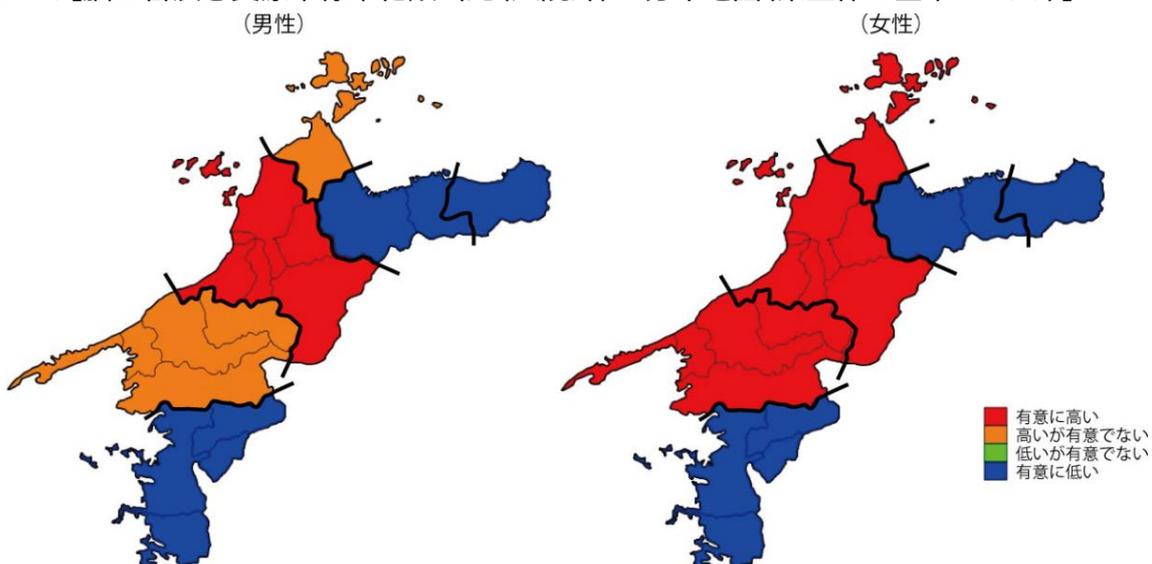


《入院外》

出典：令和4（2022）年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業データ分析報告書（令和2（2020）年データ）

男女ともに松山圏域が有意に高く、宇摩、新居浜・西条及び宇和島圏域が有意に低くなっています。また、女性では今治及び八幡浜・大洲圏域も有意に高くなっています。

図Ⅱ-15[脳血管疾患受療率標準化該当比(入院外)の分布地図(県全体を基準=100)]



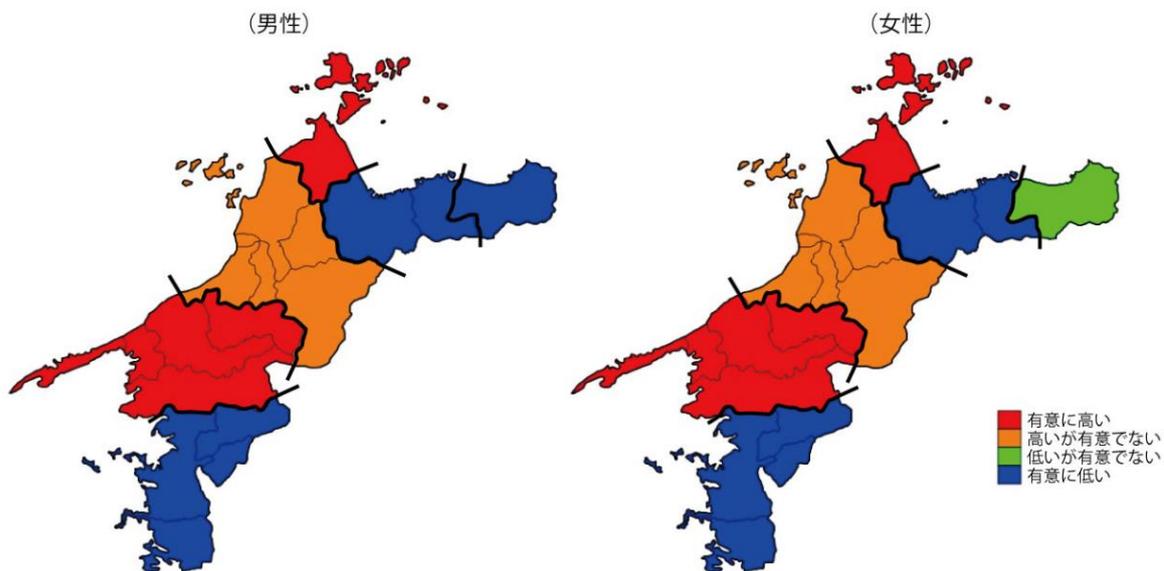
出典：令和4（2022）年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業データ分析報告書（令和2（2020）年データ）

【虚血性心疾患】

《入院》

男女ともに今治及び八幡浜・大洲圏域が有意に高く、新居浜・西条及び宇和島圏域が有意に低くなっています。また、男性では宇摩圏域も有意に低くなっています。

図Ⅱ-16[虚血性心疾患受療率標準化該当比(入院)の分布地図(県全体を基準=100)]

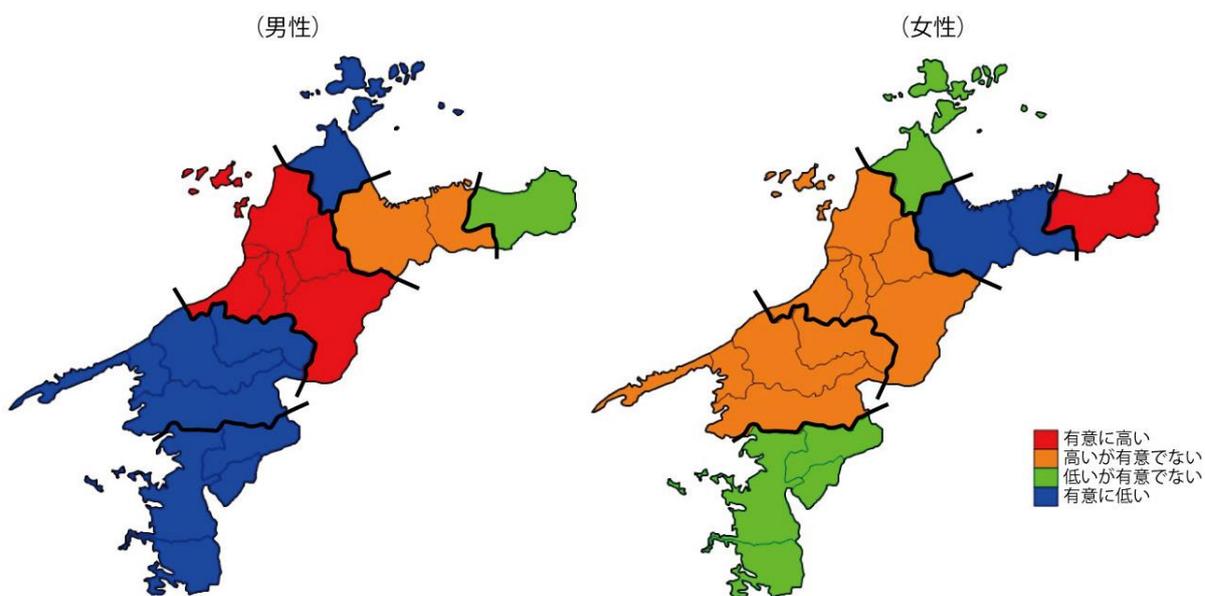


出典：令和4（2022）年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業データ分析報告書（令和2（2020）年データ）

《入院外》

男性では松山圏域が、女性では宇摩圏域が有意に高くなっています。また、男性では今治、八幡浜・大洲及び宇和島圏域が、女性では新居浜・西条圏域が有意に低くなっています。

図Ⅱ-17[虚血性心疾患受療率標準化該当比(入院外)の分布地図(県全体を基準=100)]



出典：令和4（2022）年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業データ分析報告書（令和2（2020）年データ）

Ⅲ 循環器病の基礎知識

1 脳卒中(脳血管疾患)

脳卒中とは

脳卒中は、脳の血管が詰まったり、破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなって、細胞が死んでしまう病気です。急に倒れて意識がなくなったり、半身のまひが起きたり、ろれつが回らなくなったりする発作が起きます。

脳卒中は後遺症により生活に支障をきたすことが多く、重度の要介護状態を引き起こす最大の原因となっています。発症後、早く治療を開始すれば後遺症を軽くすることも可能です。脳卒中の疑いがある場合には、可能な限り早く病院を受診しましょう。

脳卒中という言葉は“症状”を伴う脳血管疾患とほぼ同義に用いられてきました。“卒中”には「悪い風にあたって倒れる」という意味があります。英語では脳卒中のことを Stroke といいますが、これも「打撃」とか「一撃」という意味があり、症状に焦点を置いた表現です。



脳卒中にはどんなものがあるの？

脳卒中は原因によって大きく2つのタイプに分けることができます。脳卒中のうち、一般的に脳出血、くも膜下出血と脳塞栓（のうそくせん）は出現が急で症状が重篤であり、ラクナ梗塞は比較的症状が現れるのが緩やかで前者と比べると死亡率は低くなっています。

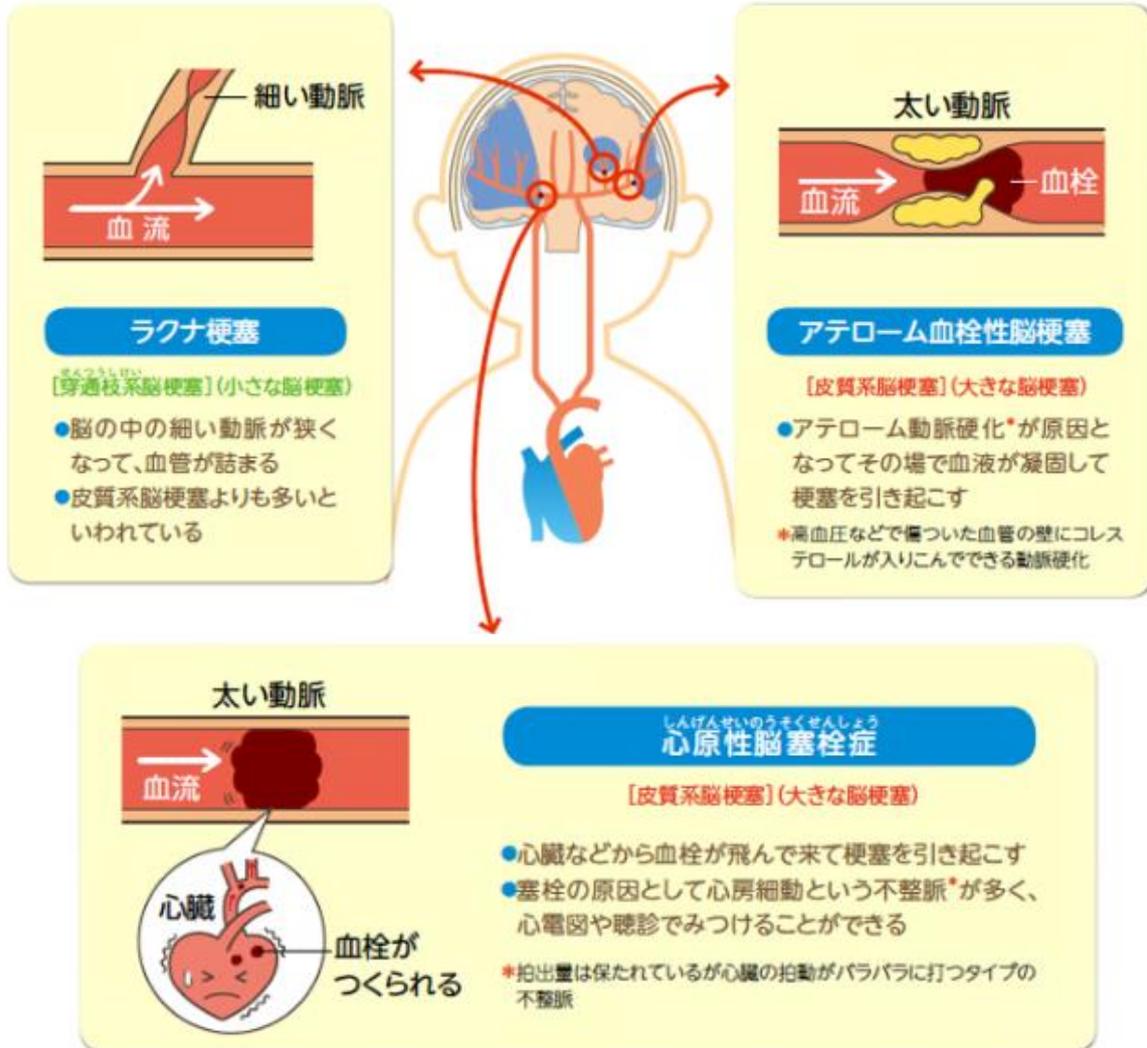
図Ⅲ-1[脳卒中の分類]



脳卒中のタイプ

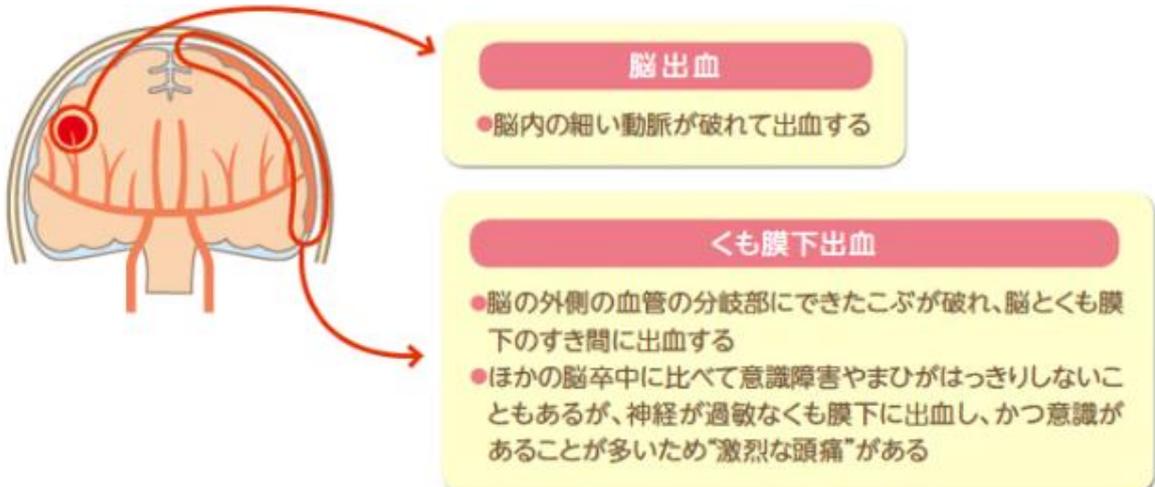
血管が詰まるタイプ:脳梗塞

血管が詰まることでその先の脳細胞に血流が行き渡らず、酸素や養分を送ることができなくなって障害が起きます。



血管が破れるタイプ:脳出血・くも膜下出血

血管が破れて出血してしまうことで、脳が破壊、圧迫されて障害が起きます。



出典:厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」